

FRONX

新型フロンクス

広 報 資 料

P R E S S I N F O R M A T I O N



新ジャンルのクーペスタイルSUV

新型 フロンクス 誕生



Photo:2WD車 ボディーカラーはスプラッシュシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ(E85)



商品企画本部 四輪B・C商品統括部
第5カーライン チーフエンジニア
森田 祐司

全世界でSUVの人気の高まっている中、フロンクスはすでに2023年よりインド、中南米、中近東などの国や地域で販売を開始しているグローバルSUVです。存在感のある個性的なデザインと取り回しの良いサイズ感が世界中で高い評価をいただいております。

このフロンクスを、4WDの設定や最新の予防安全システムを搭載するなど、日本のお客様のニーズに合わせたモデルとして新たに専用開発し、満を持して日本市場に導入いたします。

競争が激化する国内のコンパクトSUV市場において、フロンクスは競合車に埋没しない、個性を主張する力強さ・上質さ・洗練さを合わせ持つクーペスタイルSUVです。

インテリアは、クルマを持つ喜びを感じてもらえるよう上質感にこだわり、よく目に触れる場所や手が触れる場所に加飾や表皮巻きを施すことで高い質感を演出しました。

また、家族や友人と一緒にいろいろな場所に出かけてほしいという想いから、日本の道路事情に合わせてサスペンションをチューニングし、後席の座り心地や静粛性のほか、操縦安定性も高め、運転を楽しみながら長距離でも快適に移動ができる乗り心地としました。

新型フロンクスは、これまでのコンパクトSUVにはない魅力を満載したクルマとして、新しい市場を切り開くモデルとなることを確信しております。

フロンクスはグローバルカーとしてインドをはじめ、
中南米、中近東、アフリカなどで好評をいただいています。

インド乗用車市場において、最速で累計販売台数10万台を達成※

ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー(WCOTY)の 2024 World Urban Car部門ファイナリストにノミネート

※JATO Dynamics調べ 2024年1月現在

世界中で高い評価を獲得 フロンクス 受賞歴

2024 The Best Car of the Year (南アフリカ)

Competition Category: Budget/Compact The South African Guild of Mobility Journalists(SAGM)

2023 Design of the Year (インド)

Jagran HiTech

2024 Best Design and Styling (インド)

Autocar India

2024 Compact Car of the Year (インド)

Carandbike

2024 Car of the Year (インド)

T3

2024 Design of the Year (インド)

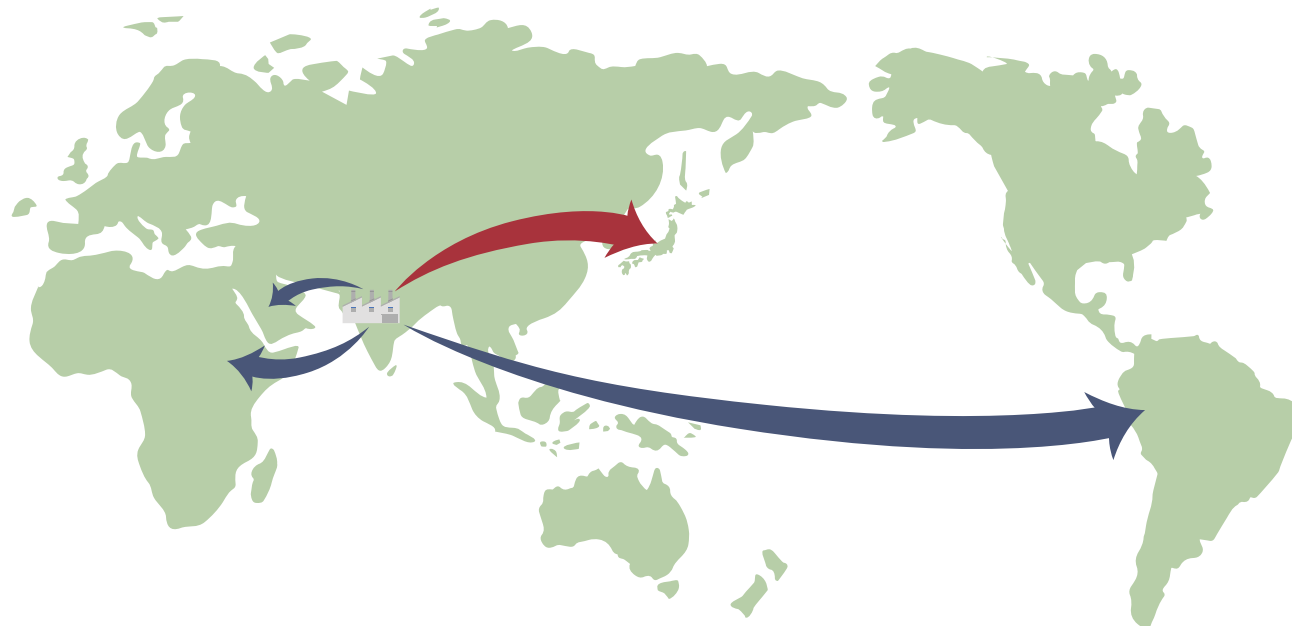
ABP Auto

生産工場

新型フロンクスはインド西部に位置するグジャラート工場で生産されています。グジャラート工場は2017年2月に稼働を開始し、スズキのグローバルモデル生産拠点として、年間約75万台の生産能力を誇ります。

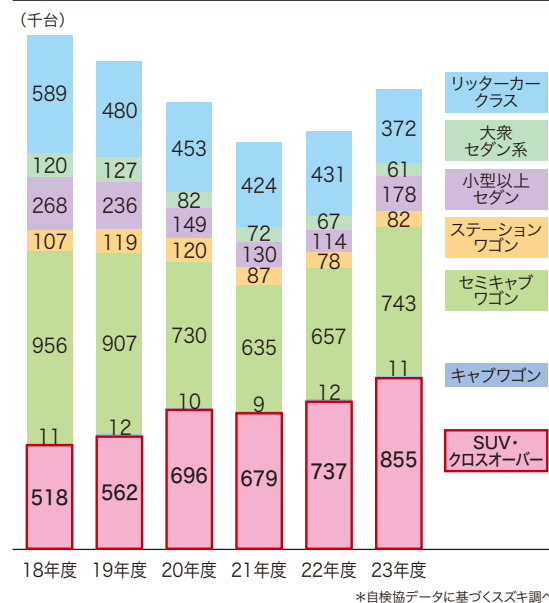


グジャラート工場

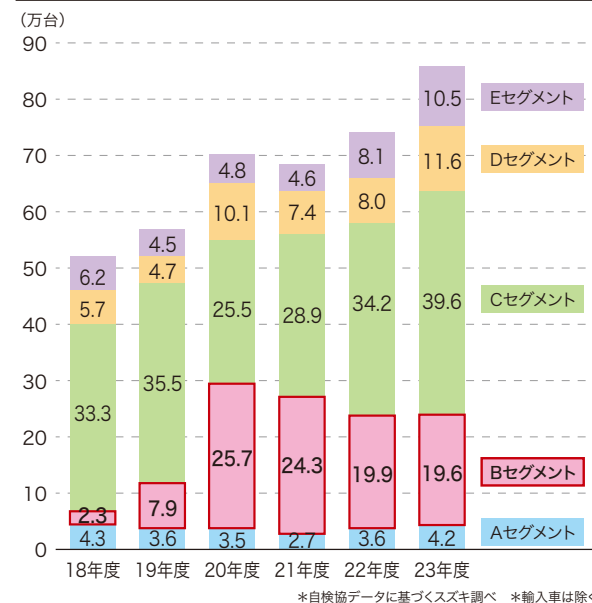


市場動向

登録乗用車 タイプ別 登録台数推移

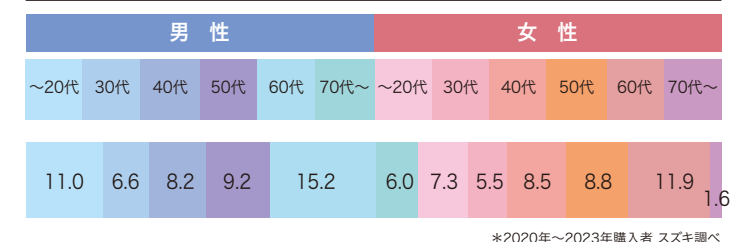


セグメント別SUVの登録台数

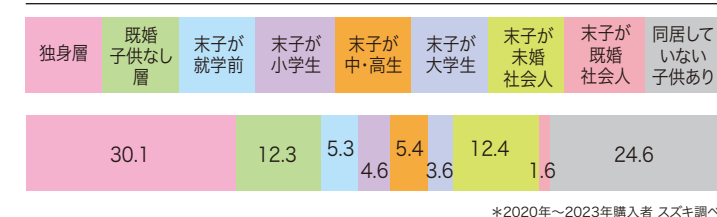


SUVカテゴリーは日本の登録車市場のなかで最も大きなボリュームとなっており、なかでもBセグメント(全長3.8m~4.3m)はSUV市場の中で2番目の販売ボリュームとなっています。

BセグメントSUV購入者の性・年代



BセグメントSUV購入者のライフステージ



BセグメントSUVは、老若男女あらゆる年代の方が購入しており、また「独身層」や「同居していない子供あり」といったパーソナルユース層を中心に、幅広いライフステージのお客様に支持されています。

競合ひしめく国内BセグメントSUV市場に、誰もが運転しやすく、日常でも快適に使うことができ、さらにドライバモビリティが高いうえに後席の乗り心地も良く、運転する人も同乗する人も楽しく快適なクルマとして、新型「フロンクス」を導入します。

『扱いやすいクーペスタイルSUV』

デザイン

SUVの力強さと
流麗なクーペスタイル



質感の高い内装

走行性能

運転を楽しめる
パワートレイン



SUVでありながら低重心、
ワイドトレッドが生み出す操縦安定性



Photo:2WD車 ボディーカラーはスプラッシュシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E85)

扱いやすく、快適

日常でも扱いやすい
パッケージング



コンパクトさを感じさせない
快適な室内空間

予防安全・運転支援機能

最新の安全技術



ロングドライブの疲れを
軽減する運転支援

ダイナミックなクーペスタイルSUV

クルマが溢れる街中でも個性を主張する、力強さ・上質さ・洗練さを合わせ持つデザイン

新しいSUVの提案

プロジェクトがスタートした時点で、競合ひしめくコンパクトSUV市場において、力強さだけではない何か新しい要素が必要だということを感じていました。当時、欧州ではクーペスタイルのSUVが流行りつつあり、この流れは世界に波及するであろうと考えました。そこで、SUVの力強さと流麗なクーペスタイルをコンパクトサイズで両立させることで、際立つスタイリングを表現できるのではという思いから、「ダイナミックなクーペスタイルSUV」をデザインコンセプトに掲げました。

伸びやかなルーフラインと傾斜したバックドアウインドーが滑らかに繋がって見えることで、美しいシルエットに仕上がっていると思います。またキャビンの後方に向かって大きく絞り込むことによって、足回りを際立たせた力強い造形となっています。

フロントマスクはダイナミックさを表現するために、上下方向に厚みを持たせ、サイドから大きく回り込んだフェンダー形状に、シャープな印象の灯火類を採用することで、特長的で個性的なデザインとしました。また、グリルを貫くメッキのバーを上段のランプに繋げることで横方向を強調し、ワイド感を演出しています。リヤについても同様で、横一文字のテールランプを採用することで先進的なイメージを与えるとともに横方向を強調しワイド感も演出しています。



商品企画本部
四輪デザイン部 エクステリア課
福島 耕一郎



エクステリアデザインスケッチ

力強く洗練された空間を目指して

迫力あるエクステリアに相応しい力強く逞しいスタイリングをベースに、都会的で洗練された雰囲気を加えデザインしました。シートに座った際、目に飛び込んでくるインパネにはシルバー／パールブラック／ボルドーのコンビネーション加飾を配し、見応えのあるデザインとしました。力強さの核となるシルバー加飾部分は、磨き上げられた金属フレームを目指し高輝度シルバーに塗装。硬質で頑丈な金属に見えるよう造形の表情にこだわり、細部まで作り込みデザインしています。室内空間のアクセントとしてサイドルーバーやドアトリム、ステアリングにパールブラック塗装を施し、空間を引き締め精緻感のある上質さを表現しています。またワンランク上の空間を演出するために、肌が触れるシートやアームレストにレザー調の素材を用い豊かな表現とすることで心地良さを提供します。特にシートは、立体的かつ上質に見えるよう縫製ラインやステッチの入れ方にもこだわっています。メインのファブリックには光沢感のある織物を採用し、レザー調とファブリックの異素材のコンビネーションにすることで高級感を高めています。



商品企画本部
四輪デザイン部 インテリア課
遠藤 拓磨



インテリアデザイン
スケッチ

個性的で存在感のあるエクステリア

個性的で存在感のあるフロントマスク

フロントマスクに大きく回り込むフェンダー形状、二段式ヘッドランプを採用。

フロントグリルの材料にDURABIO™※を採用

- 植物由来の原材料。
- 塗装工程が不要のため、VOC(大気中で気体となる有機化合物)の排出量が少ない。
- ピアノブラック調仕上げ。

※DURABIO™は三菱ケミカル株式会社の登録商標です。



シルバー調のアンダーガーニッシュでSUVの力強さを演出

コントラストの効いた強い立体感を表現

陰影の緩急とコントラストで立体感溢れる面表情を表現。

デザイン性の高いシャークフィンアンテナを設定

スズキ国内初採用

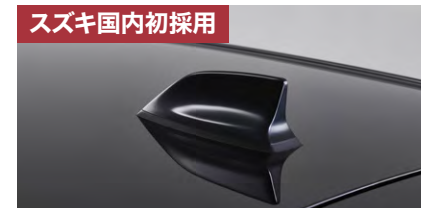


Photo: 2WD車 ボディーカラーはスプラッシュシルバーパールメタリック
ブラック2トーンルーフ(E85)

先進的で存在感のある灯火類

LEDデイトタイム
ランニングランプ(DRL)
& LEDポジションランプ
& LEDターンランプ

ハイビーム
ロービーム



LEDターンランプ点灯時

LEDストップランプ

ハイマウントストップランプ(LED)



横一文字のテールランプが圧倒的な存在感を演出。

LEDリヤライセンスランプ

スタイリッシュで都会的なイメージを表現

バックドアを大きく傾斜し、クーペスタイルに。

力強さ・上質さ・洗練さを合わせ持つインテリア

パールブラック塗装

パールブラック塗装をサイドルーバー／ドアトリムに施すことで、洗練さを表現。



高輝度シルバー塗装

高輝度シルバー塗装を使用することで、がっしりとインパネをホールドする磨き上げられた金属フレームを表現。



ステンレス製ペダルプレート

スポーティーさと上質さを表現。



Photo: 2WD車 ボディーカラーはスプラッシュシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E85)



大胆かつ硬質な造形とすることで力強さを表現。



インパネロアからドアトリムに繋がる造形で、乗員を守る逞しさを表現。

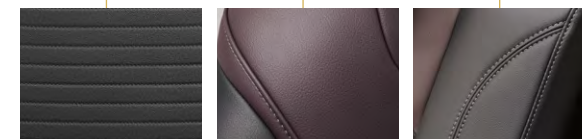
レザー調表皮巻き・本縫いステッチ

肌がよく触れる箇所をレザー調表皮巻きとすることで、心地良さと上質感を演出。



レザー調&ファブリックシート表皮

シート表皮は、レザー調とファブリックのコンビネーションで高級感を付与。



【メイン材】ファブリック 【サイド材】レザー調 【ボクスター材】レザー調

デザインのこだわり

エクステリア：機敏さと逞しさを感じる足回り

足回りの造形については特にこだわっており、筋肉質で力強い張り出しを表現するためにダブルフェンダーを用いています。通常のフェンダーフレアと高い位置にあるブリスターフェンダーを組み合わせることで、より足回りを強調したデザインとなっています。これはSUVの力強さとダイナミックさを表現するのが狙いで、ボリューム感を持たせた形状にしているのですが、実はスケッチからモデルにする段階で、この造形を表現するのが難しく、何度もクレイモデルで試行錯誤しながら作り込みました。

アルミホイールの意匠についても、切削面の外周部に段差をつけることで堅牢さと力強さを表現しています。



商品企画本部
四輪デザイン部 エクステリア課
福島 耕一郎



しなやかな筋肉を表現したダイナミックなダブルフェンダー

スズキ国内初採用

閉じた形状のスポークで堅牢さを表現したホイールデザイン



インテリア：内装色のこだわり

内装色については、お客様には特別感を味わっていただきたい、またSUV市場の中で埋もれない個性が必要だと考え、ブラックとボルドーの2トーンカラーでコーディネートしました。ボルドーの調色についてはかなり難しく、少し青味にすると血色が悪く見え、反対に黄味にし過ぎるとブラウンに見えてしまいます。さらに、グリーンガラスを透過した黄味の光が内装色の見え方に影響することも考慮し、ベストなボルドー色となるよう車内での見映え確認と調色を繰り返しました。ボルドーは都会的かつスポーティーで高級感もあり、更に内装色の黒を背景に高輝度シルバーやパールブラックと組み合わせることでそれぞれをより魅力的に見せてくれる色だと思います。抑揚のあるフロアコンソールの造形を引き立たせる唯一無二の個性として、アピールできるカラーに仕上がりました。



商品企画本部
四輪デザイン部 インテリア課
江口 奈津美



ブラック×ボルドーの配色により、スポーティーで高級感のある力強いSUVの内装を演出

上質感のある魅力的なカラーラインアップ

ブラック2トーンルーフや、日本初投入のボディーカラーを採用

2トーン



オピュレントレッドパールメタリック
ブラック2トーンルーフ (E86)



アースブラウンパールメタリック
ブラック2トーンルーフ (E87)



スプレディッドシルバーパールメタリック
ブラック2トーンルーフ (E85)



ルーセントオレンジパールメタリック
ブラック2トーンルーフ (E88)



アークティックホワイトパール
ブラック2トーンルーフ (E5G)

モノトーン



スプレディッドシルバーパールメタリック
(WBE) (2024年12月発売予定)



アークティックホワイトパール
(ZHJ) (2024年12月発売予定)



セレスティアルブルーパールメタリック
(WBH)



ブルーイッシュブラックパール4
(WB3)

扱いやすいサイズと快適な室内空間を両立したパッケージング

街中でも扱いやすく、後席も快適に

- 取り回しの良いコンパクトサイズ

全長 **3,995mm**

- 立体駐車場に入る全高

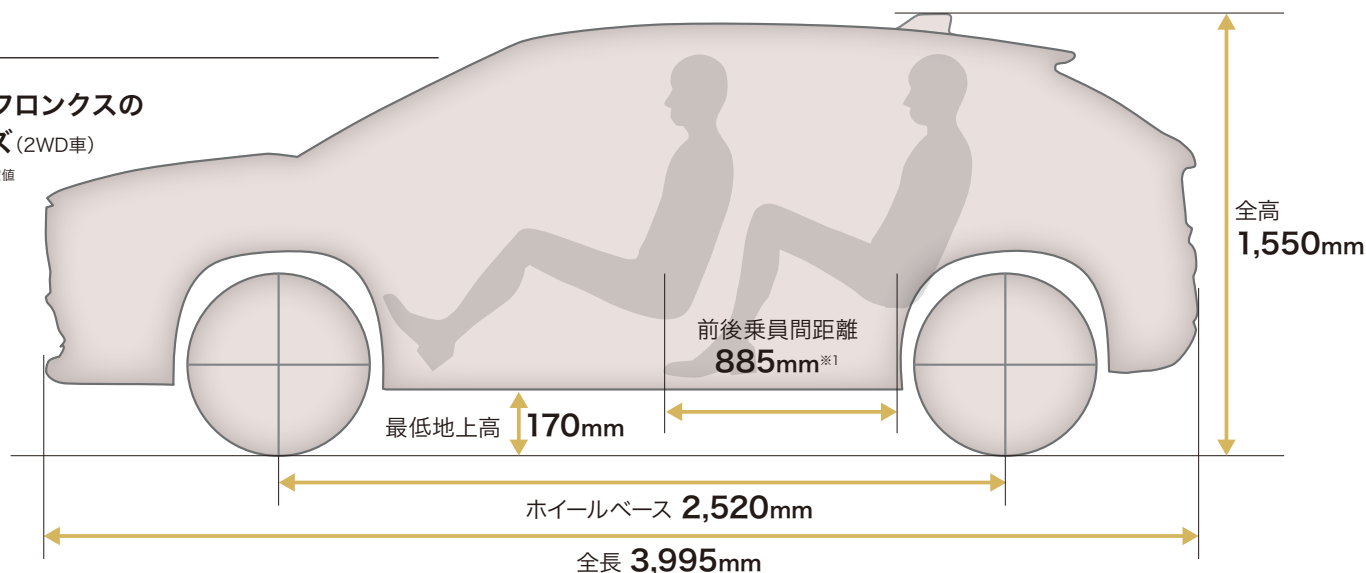
1,550mm

- 後席のゆったりとした足元空間

前後乗員間距離 **885mm**^{※1}

※1 前後乗員間距離はスズキ社内測定による参考値です。

■新型フロンクスの
サイズ (2WD車)
*社内測定値



クラストップ^{※2}の最小回転半径を実現

最小回転半径
4.8m



※2 国内コンパクトSUVクラス 2024年10月現在。スズキ調べ。

日常使いを重視した取り回し性能を目指しました

開発時から大切にしたのは、SUVらしい力強いスタイリングを実現しながら、使いやすく、快適なクルマであるということです。そのために最も苦労したのが、力強さを表現する大径タイヤの採用と、取り回しの良さ、乗り心地の両立でした。一般的に大径タイヤを装着する場合、周辺部品とタイヤの干渉を避けるためタイヤの切れ角を減らす必要があり、最小回転半径が大きくなり、取り回しが悪くなります。しかし、フロンクスのアピールポイントである扱いやすさ、快適性、力強いスタイリングを実現するために、ベストバランスのタイヤサイズについて検討を重ね、同時にタイヤ周りのレイアウトも検討し、クラストップの最小回転半径4.8mを実現することができました。

四輪車両技術本部 四輪車両運動設計部 サスペンション設計課 高藤 裕介



扱いやすいサイズと快適な室内空間を両立したパッケージング

前席、後席ともに高い静粛性を実現

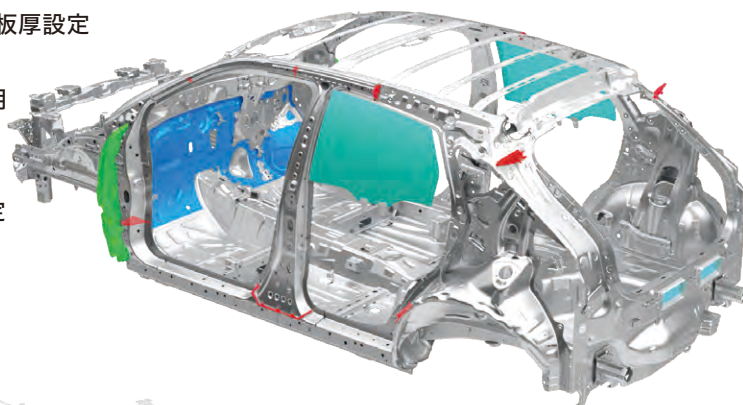
車室内に不快な音が入ってくるのを防ぐためのアイテムを採用し、静粛性を高め走行中の快適性を高めました。

遮音性を重視したダッシュパネルの板厚設定

遮音性が優れる高目付の
ダッシュインナーサイレンサーを採用

吸遮音性に優れる
PUR材の隔壁をフェンダー内に設定
エンジン透過音、ロードノイズ低減

*PUR:ポリウレタン樹脂



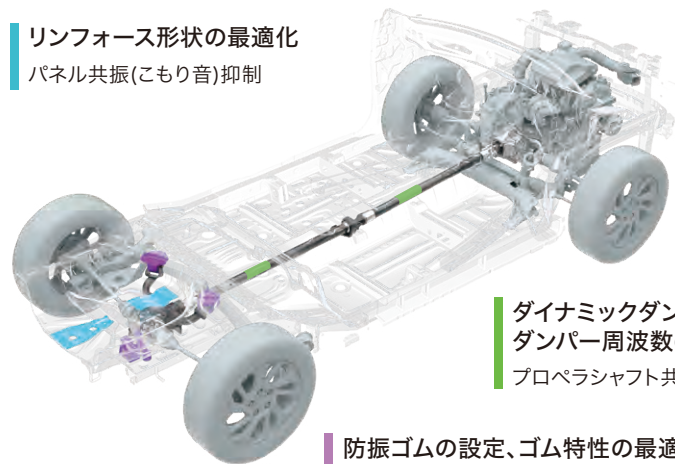
ボディー骨格断面内各所に遮音壁を設定
エンジン透過音、ロードノイズ低減

騒音源(タイヤ、マフラー)から遠い位置に
ベンチレーターを配置
ロードノイズ、排気騒音低減

遮音性を重視したリヤドアガラスの板厚設定
風騒音低減

■4WD車専用のNVHアイテム

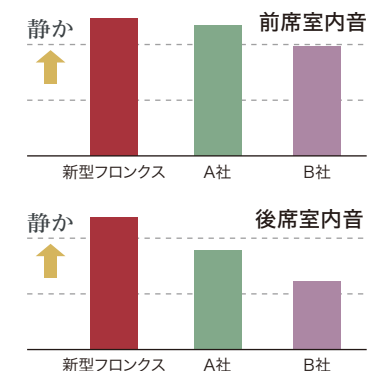
リンフォース形状の最適化
パネル共振(こもり音)抑制



ダイナミックダンパーの設定、
ダンパー周波数の最適化
プロペラシャフト共振による振動低減

防振ゴムの設定、ゴム特性の最適化
車体への振動伝搬低減

■走行時(60km/h) 会話明瞭度※比較



※会話明瞭度 (Articulation Index): 会話のしやすさを示す尺度。値が大きいほど会話しやすい(静粛性が高い)

会話を楽しめる室内空間とするために

静粛性を高めるアイテムの採用により遮音性を高め、雑味のある高周波の音を低減することで、フロンクスの特長である質感の高さや室内の快適性を静粛性の面でサポートしました。

また、4WDはリヤ駆動系からの振動入力もあり、一般的には2WDに対してNVH性能面で不利となりますが、対策を講じることで、2WDと遜色のないNVH性能を実現しました。

技術戦略本部 四輪実験解析部 車両NVH性能実験課 立花 祐一



充実の快適装備に加え、機能と使いやすさにこだわった収納を設置

ワイヤレス充電器をはじめとした快適装備を標準装備



ワイヤレス充電器



スマートフォン連携
メモリーナビゲーション



USB電源ソケット[Type-A/Type-C]
(リヤ、2個)



電動パーキングブレーキ



ブレーキホールド



シートヒーター(運転席、助手席)&
リヤヒーターダクト

使い勝手の良い小物収納スペースを設置



グローブボックス



アームレスト機能付コンソールボックス



インパネトレイ



フロントドアポケット
[ペットボトルホルダー付] (両側)



センターコンソールドリンクホルダー
(フロント2個)



センターコンソールトレイ

後席にも充実の収納スペース

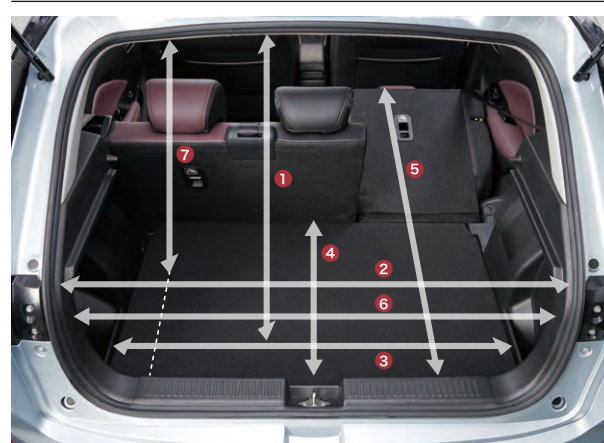


シートバックポケット(運転席、助手席)



リヤドアドリンクホルダー(両側)

広くて積みやすいラゲッジスペース



荷室容量(5名乗車時) (L)	210 (290)
① 荷室高(mm)	700 (850)
② 荷室幅(mm)	1,320
③ 荷室床面幅(mm)	1,010
④ 荷室床面長(5名乗車時)(mm)	650
⑤ 荷室長(2名乗車時)(mm)	1,380
⑥ 荷室開口幅(mm)	970
⑦ 荷室開口高(mm)	560

*社内測定値 * ()内の数値はラゲッジボード撤去時の数値
*荷室容量はVDA(ドイツ自動車工業会)の定めたトランク容量測定値。



ラゲッジボードを外せば38Lのキャリーケースを4つ縦積み可能



分割可倒式のリヤシートを倒して長尺ものも積載できます

ラゲッジボードで多彩なアレンジが可能



ラゲッジボード中段



ラゲッジボード立てかけ



ラゲッジボード取り外し



ラゲッジボードを設置した状態でリヤシートを倒せば、フラットな荷室が出現

*走行中は、荷物が移動し、運転の支障とならないようしっかりと固定または収納してください。

運転が楽しく、つい遠くまで出かけたくなる

運転する楽しさを味わえるパワートレイン

ゆとりある走りを実現する
1.5L 4気筒NAエンジン

燃費向上に貢献する
マイルドハイブリッド

シフトフィーリングを
楽しめる6AT

力強い加速性能と上質な走り、静粛性を両立させるK15C型エンジンを採用。マイルドハイブリッドと組み合わせ、燃費向上に貢献しながら発進時の加速をアシスト。さらに、6ATと組み合わせることでスムーズかつスポーティーな走りを実現しました。

エンジン型式	K15C型
気筒数	4
排気量(cc)	1,460
最高出力(kW/rpm)ネット	74/6,000
最大トルク(N・m/rpm)ネット	135/4,400
トランスミッション	6AT

*フロンクス 2WD車



*K15C型エンジンイメージ図

燃料消費率^{※1}
(国土交通省審査値)
WLTCモード^{※2}

19.0km/L (2WD車) 17.8km/L (4WD車)

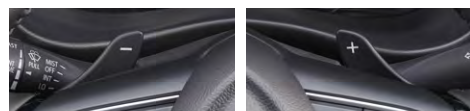
燃料消費率^{※1}
(国土交通省審査値)
JC08モード

21.3km/L (2WD車) 20.2km/L (4WD車)

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
※2 WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

パドルシフトを設定

自分の思いのままにシフトコントロールができ、運転をさらに楽しめます。



スポーツモードを設定

アクセルレスポンスを重視したエンジン制御により、スポーツ感のある走りを楽しめます。



2WD車への設定はスズキ初

4WDを日本市場に合わせて設定

通常走行時では前輪側よりに駆動力を配分し、滑りやすい雪道などでは前後輪に最適な駆動力を配分するビスカスカップリング式の4WDシステムを採用しました。

燃費向上に取り組んだエンジン設計

燃費性能を高めるため、デュアルインジェクターやクールドEGR、ローラーロッカーアームなどフリクション低減アイテムを採用しました。さらに、吸排気VVTによるカムタイミングの最適化により、燃費性能向上だけでなく、排ガス性能の向上にも寄与しています。



四輪パワートレイン技術本部
四輪エンジン設計部
エンジンブロック・駆動設計課
久保 慶太

ドライブレインのこだわり

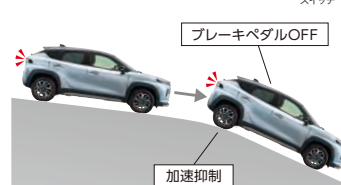
フロンクスのコンセプトのひとつである快適な室内空間を実現するために、ドライブレインについてもNV性能にこだわりました。走行時のトルク出力をコントロールすることで、アクセルON/OFF時にギヤが接触する際の衝撃が低減し、静粛性を高めました。4WDシステムについても、プロペラシャフトの長さやダンパー周波数を最適化することで、リヤ駆動系の振動伝搬を低減させました。



四輪パワートレイン技術本部
四輪ドライブレイン設計部
トランスミッション量産開発課
山本 健人

シーン毎に使い分ける4WD専用の3つのモードを採用

■ヒルディセントコントロール
(4WD車)
急な下り坂でも安心



■グリップコントロール
(4WD車)
滑りやすい路面でスリップを防止



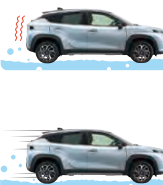
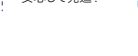
■スノーモード(4WD車)
滑りやすい路面でも安心



スノーモード OFF
そっとアクセルペダルを踏み込まないとスリップしそう...



スノーモード ON
エンジンの出力を自動で抑え、ブレーキの制御も併用し、安心して発進!



ドライバーも同乗者も楽しく、快適に

ロングドライブも快適に

- SUVでありながら低重心、ワイドトレッドが生み出す操縦安定性
- ロングホイールベースによる直進安定性



タイヤ、コイルスプリングのバネ定数、ショックアブソーバーの減衰力、電動パワーステアリングの操舵アシスト力について、日本の路面に合わせたチューニングを実施



Photo: 2WD車 ボディーカラーはスプラッシュシルバーパールメタリック
ブラック2トーンルーフ (E85)



サスペンションイメージ図

高い操縦安定性

高速道路の合流やレーンチェンジのような場面でも、ドライバーの思い通りにクルマを操ることができる高い操縦安定性。

高い直進安定性

直進走行時、ステアリングの中立位置が分かりやすく、安心感のある操舵力特性。

快適な乗り心地

マンホールや橋の継ぎ目のような段差通過時のショックを抑えた乗り心地。

を実現

長時間の運転でも疲れにくいシートを採用

- シートクッションの座面長を長く
- シートボルスターの高さの最適化



ボルスター



前席、後席ともに、高いホールド性、サポート性、フィット性を実現

チルト&テレスコピックステアリングを採用

チルトステアリング、テレスコピックステアリング、さらにシートスライド、シートリフターの調整で、ドライバーの体格や好みに合わせたきめ細かい設定が可能です。



乗り心地と操縦安定性を両立するために

乗り心地については、後席に乗る家族や友人にも快適に過ごしてもらえる空間というコンセプトで開発がスタートし、マンホールや橋の継ぎ目のような段差通過時のショックを少しでも和らげるため足回りの調整に入りました。乗り心地を良くするためには足回りを柔らかくすればその分ショックを吸収してくれるので乗り心地が改善されるのですが、そうするとハンドルを切ってもすぐに車体が反応しないなど操縦安定性が悪化してしまいます。何度も走行テストを行い、乗り心地と操縦安定性の両方が成り立つバランスを見て、足回りを調整しました。



四輪車両技術本部
四輪車両運動性能評価・制御設計部
車両運動性能評価課
向畑 信幸

後席シートもこだわった座り心地

前席はもちろん、「後席に乗る人にも快適に過ごしてもらいたい」という想いで後席の座り心地にもこだわりました。そして、「高級感のあるデザイン」「ロングドライブも快適に」をテーマに、立体感があって長時間座っても疲れないシートを目指しました。立体的に見え、さらに乗員の姿勢保持性を高めるために、ボルスターを高くする検討を行いました。ボルスターが高すぎると乗り降りし難くなったり、後席を倒したときに荷室としてフラットに出来なくなり、お客様の使い勝手を損ねてしまいます。この相反する両者を両立させるボルスターの高さをどうするかが苦労したところでもあり、こだわったポイントです。



四輪車両技術本部
四輪プラットフォーム設計部
シート設計課
鈴木 大祐

最新の予防安全技術、運転支援機能を搭載

SUZUKI
Safety Support

スズキの予防安全技術

安心して、楽しくスズキのクルマに乗っていただきたいという想いから生まれた「スズキ セーフティ サポート」。事故を未然に防ぎ、お客様の万のときの安全を確保するために、運転をサポートする様々な技術で、ヒヤリとする場面も限りなくゼロに近づけていきます。

HIGHWAY 高速道路での運転サポート

アダプティブクルーズコントロール (ACC)
[全車速追従機能・停止保持機能付]

高速道路や自動車専用道路を走行中、設定した速度での走行や、適切な車間距離を保ちながら先行車を追従することで、運転操作の負担を軽減します。

〈作動条件〉先行車の有無に関わらず、0km/h以上でシステムをONにした場合。

STREET 街中での運転サポート

デュアルセンサーブレーキサポートⅡ



歩行者や自転車も検知し、交差点での出会い頭や右左折時の事故による被害を軽減します。

〈作動条件〉自車速度約5km/h～約180km/h (対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h～約80km/h)、交差点 (右左折) では、自車速度約5km/h～約40km/h (対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h～約30km/h)、交差点 (出合頭車間) では、自車速度約5km/h～約60km/hで走行中、車間や自動二輪車 (前方の対向車間、対向自動二輪車は約30km/h～約180km/h)、自転車、歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があるとして判断した場合、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみで衝突被害軽減ブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。

先行車発進お知らせ機能 [先行車・信号切り替わり]



先行車の発進や赤信号から青信号の切り替わりまでをお知らせすることで、スムーズな発進をサポートします。

〈作動条件〉シフトがP・R以外の位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進してもドライバーが気づかず停止し続けた場合や、赤信号から青信号に切り替わってもドライバーが気づかず停止し続けた場合。

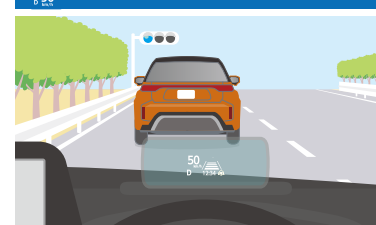
標識認識機能



走行中に最高速度などの標識を検知。ドライバーにお知らせすることで、うっかりミスを減らし、安全運転をサポートします。

〈作動条件〉走行中に単眼カメラが最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止、転回禁止、補助標識「終わリ」の標識、赤信号を認識した場合。

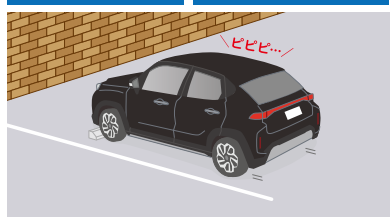
ヘッドアップディスプレイ [カラー]



運転に役立つ情報を、前方の視線の先に焦点を合わせやすいように表示。メーターパネルやナビ画面への視線移動を減らし安全運転をサポートします。

PARKING 駐車時の運転サポート

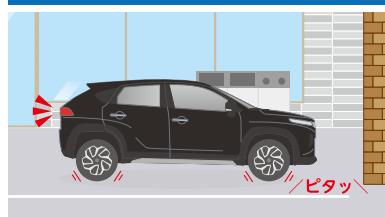
誤発進抑制機能 後方誤発進抑制機能



エンジン出力を抑えて、ペダルやシフトの操作ミスによる衝突の回避に貢献します。

〈作動条件〉●誤発進抑制機能:シフトがD・Mの位置で停車または徐行中 (約10km/h以下)、前方の障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。●後方誤発進抑制機能:シフトがRの位置で停車または徐行で後退中、後方に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。

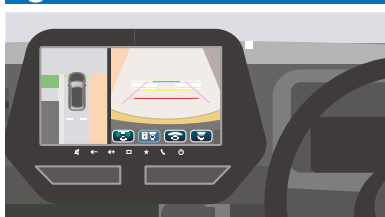
低速時ブレーキサポート (前進・後退)



駐車時などで障害物を検知し、低速時の走行をサポートします。

〈作動条件〉シフトがP・R以外の位置で前進、またはRの位置で後退方向に徐行中 (約10km/h以下)、進行方向に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。

全方位モニター用カメラ



さまざまなアングルの映像を映し出すことで、死角になる部分の視界をサポートします。

*前方/後方映像はシフトをR (後退) に入ると後方映像に。シフトをN・D・Mの位置では前方映像となります。

リヤクロストラフィックアラート

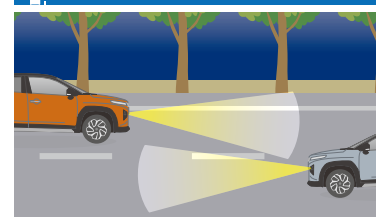


駐車場での後退時、後方左右より接近するクルマを検知。駐車場から後方発進をサポートします。

〈作動条件〉シフトがRの位置で約8km/h以下で後退中、自車の後方左右から接近する車両を検知した場合。

NIGHT 夜間時の運転サポート

ハイビームアシスト



先行車や対向車のライトを認識し、ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜道の視界を確保します。

〈作動条件〉約30km/h以上で走行中、スイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、自動でヘッドライトが点灯しているとき。

■運転支援を目的としています。■検知性能・制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■状況によっては正常に作動しない場合があります。■対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。■ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。■ご注意ください。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

SUZUKI connect

つながっているから、安心・快適・便利!

スズキコネクト※1は、お客様のクルマとつながることで新しいカーライフを提案するサービス。

もしものときの安心や、あったらいいなと思える快適で便利な機能の数々をご用意しました。

お客様にもっと寄り添う、やさしいクルマをスズキから。

スズキコネクトは
初度検査・登録年月から **3年間無料**※2

無料期間終了後もサービスをご利用になる場合は、スズキコネクト契約車両1台ごとに、別途手続きが必要となります。
※2 初度検査・登録年月の翌月1日を起算日とし、36ヵ月後の月末まで無料となります。
例：初度検査・登録年月が2024年10月の場合、無料期間は2027年10月末まで。

スズキコネクトについて
詳しくはこちら▶



24時間365日つながる 「安心」のオペレーターサービス!



もしもの時に緊急通報。

- エアバッグが展開するような大きな衝撃を検知すると、自動でオペレーターに接続します。
- 急病やあおり運転にあった時にはSOSボタン(手動通報)でもオペレーターに接続します。

スマートフォンでクルマの操作や状態が確認できる 「快適・便利」なアプリサービス!



アプリでリモート操作。※3

- スマートフォンからクルマのエアコンをリモート操作。出発前に快適な温度に設定したり、冬場にはフロント&リヤガラスの霜取りも可能です。
- ドアロックのし忘れやハザードランプの消し忘れをスマートフォンに通知。離れていてもドアロックや消灯をすることができます。



クルマに何かあったらお知らせ。※3

- 警告灯が点灯するとスマートフォンやメモリーナビゲーション※3に通知が届き、内容の確認や、オペレーターへ連絡することができます。
- セキュリティアラームが作動した時に、スマートフォンに通知が届くので、離れた場所においてもクルマの異常を知ることができます。



クルマの駐車位置を確認。※3

- 広い駐車場などでクルマの位置がわからない時に、スマートフォンで駐車位置を確認できます。
- 駐車位置をメールなどで家族や友人に共有できるので、待ち合わせの時などでも、スムーズに合流できます。



クルマのトラブル解消をサポート。

- 警告灯の点灯時やクルマの操作方法がわからない時は、スズキコネクトアプリやメモリーナビゲーションからいつでもつながるオペレーターが対応します。
- トラブルの状況に応じてオペレーターが保険会社や販売会社への連絡を一括してサポートします。



運転情報をチェック。※3

- 運転時間や平均燃費などの運転履歴や安全運転スコアを確認できます。
- 車検や点検の時期が近づくともスマートフォンやメモリーナビゲーションに通知します。



家族や知人もアプリサービスが使える“みまもるユーザー”※3

スズキコネクト会員が事前に家族などを“みまもるユーザー”に設定しておけば、リモート機能をはじめアプリサービスをシェアできるように。安心・快適・便利の輪がもっとひろがります。 *シェア機能を利用するには、事前設定が必要です。

- | | |
|--------|--|
| ①見守り通知 | 「出発」や「帰宅」など、ご自身の運転状況をご家族のスマートフォンに通知させることができます。 |
| ②シェア機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● エアコン操作 ● うっかり通知/ドアロック、ハザードランプ消灯 ● 駐車位置確認 ● 運転履歴 ● エンジン始動通知 ● 点検のお知らせ ● 無償修理のお知らせなど |

メモリーナビゲーションとの連携で、さらに使いやすく便利に。



警告灯が点灯すると、ナビ画面上に表示。スズキトラブルサポートへ発信できます。



定期点検や、無償修理のご案内をナビ画面上に通知します。またその通知履歴が確認できます。

*サービスのご利用にあたっては、スズキコネクトにご加入いただく必要があります。詳しくはWEBサイト、または販売会社にお問い合わせください。*スマートフォン画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。*画面はハメコミ合成です。*安全のため、運転中は走行中にスマートフォンの操作はしないでください。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

⚠️ 〈エアコン操作について〉一般公道で本機能を使用しないでください。道路交通法違反となる場合があります。お住いの地域によっては条例によりアイドリングを禁止/制限されている場合がありますので、ご確認の上ご使用ください。

※1 全方位モニター付メモリーナビゲーション・スズキコネクト対応通信機に対応のサービスです。 ※3 ご利用には「スズキコネクトアプリ」のインストールが別途必要となります。一部の警告灯は点灯してもスマートフォンやディスプレイに通知されません。

UTILITY STYLE タフな使用でも安心してフロンクスを使い倒す



ベースキャリア&
ルーフラックアタッチメント



ドアミラーガーニッシュ



Photo: アクセサリー装着車 ボディーカラー: アースブラウンパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E87)



ドアハンドル
プロテクションフィルム
ドアの開け閉めなどでついてしまう
傷を予防。



ドアエッジモール
ドアエッジの傷付き防止。



アウトドアでも活躍

カータープ
オートキャンプや釣りなど
様々なシーンで活躍



Photo: アクセサリー装着車 ボディーカラー: スプラッシュシルバーパールメタリック ブラック2トーンルーフ (E85)



マッドフラップセット
砂や泥などの跳ね上げによる車体への傷や汚れを軽減。